

平成28年度の活動予定(新たな取り組み等)

- (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 P1
 - ・今年度から継続した活動を予定
- 日本建設業連合会北陸支部 P2
 - ・土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」について
 - ・「市民現場見学会」について
- (一社)新潟県地質調査業協会 P3
 - ・県内土木系高等学校において地質調査技術に関する授業協力
- 新潟県立新潟工業高等学校 P4
 - ・資格取得・技術力向上の取組について
- 新潟県教育庁高等学校教育課 P5
 - ・県立専門高校メッセの開催
 - ・インターンシップ、デュアルシステムの実施
- (一社)新潟県建設業協会 P6
 - ・工業高校生を対象に「2級土木施工管理技士学科試験準備対策講習会」を実施
 - ・小学生を対象にした「現場見学会」の拡大実施
- (一社)日本道路建設業協会北陸支部 P8
 - ・来年度についてもインターンシップの取り組みを充実していく予定
- 北陸地方整備局 P9
 - ・MPレーダ見学(富山出張所)の要望 (北陸技術事務所)
 - ・平成28年度活動計画(案)の策定並びに調整 等 (高田河川国道事務所)
 - ・千曲川直轄改修100周年に関する活動 等 (千曲川河川事務所)
 - ・橋梁点検実習 (長岡国道事務所)
 - ・鷹ノ巣道路の工事現場での中学生を対象とした現場見学会等 (羽越河川国道事務所)

平成28年 2月 2日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(新潟県部会)

平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

今年度の取り組みを基にして、継続した次の活動を予定しております。

- ① 建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を北陸支部管内の建設系大学等9校に配布し、学校からの要望に基づき、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について説明会を継続して実施する予定
- ② 平成16年から「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいて出前講演を行っており、平成28年度も継続して実施する予定
- ③ 北陸支部会員各会社において、平成28年度もインターンシップの受入れの募集を行い、建設コンサルタント業務などの実習・体験など行ってもらう予定
- ④ 今年度と同様に、乗船体験をしながら、信濃川から見た「やすらぎ堤」「萬代橋」などを見学する「親子で見学会」を開催する予定
- ⑤ 北陸支部主催の「業務・研究発表会」に、今年度と同様に学生からの講演を予定しており、北陸支部管内の建設系の大学等にも聴講案内を行う予定
- ⑥ 今年度、現在制作中の第2弾「建コンPR動画」についても、第1弾同様に行政機関の後援をいただき、チラシ等を北陸支部管内の高等学校に配布する予定
- ⑦ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並びに第3弾の動画製作を予定
- ⑧ 建設コンサルタンツ協会本部が作成した大学生向けリーフレット及びポスターを活用して、関係大学等へ広く広報する予定
- ⑨ 今年度と同様に、学校からの要望に基づいて、講演会や講師の派遣等を行う予定
- ⑩ 今年度と同様に、担い手確保・育成促進協議会、行政機関等と連携して、現場見学会、講師派遣等を行う予定

平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：日本建設業連合会北陸支部

- ① 土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」については、引き続き今年も実施することとしています。
見学場所については、6月頃に選定することとし、特に親の理解が深まるような企画を検討していきます。
- ② 「市民現場見学会」については、担い手協新潟部会の計画に基づき、今年度は新潟大学の学生が対象になりますが、引き続き富山、石川方面の見学会も検討していきます。

平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：(一社)新潟県地質調査業協会

県内土木系高等学校において地質調査技術に関する授業協力

- 授業協力の高等学校は調整中
- 授業内容(予定)
 - ・ 地質調査の目的とその調査内容
 - ・ ボーリング調査の概要(映像等を活用)
 - ・ 各種現位置試験の概要と実施
 - ・ 土質試験の概要(映像等を活用)

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：新潟県立新潟工業高等学校

件名

資格取得・技術力向上の取組について

要旨

①資格取得に向けた支援について

建築土木系の資格取得は授業中の指導だけでは難しい。技術者から資格取得の指導をお願いしたい。

（主な資格）

・測量士補、土木施工管理技士、建築施工管理技士、管工事施工管理技士等

平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名：新潟県教育庁高等学校教育課

1 県立専門高校メッセの開催

期 日：平成28年8月23日(火)

会 場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

内 容：来場者が体験等をとおして、興味・関心や理解を深めることができる企画とする。

出展者：専門高校、総合高校、上級学校、企業・団体等

2 インターンシップ、デュアルシステムの実施

各学校の計画、参加生徒の希望状況等により、研修協力を依頼する。

平成28年度の活動予定

機関名・団体名：一般社団法人新潟県建設業協会

工業高校生を対象に「2級土木施工管理技士学科試験準備対策講習会」を実施

当会では、若年者の建設産業への入職促進を図ることを目的に、富士教育訓練センターの協力を得て、夏休み期間等を利用した「2級土木施工管理技士学科試験受験対策講習会」を実施し、在学中の資格取得を支援する取り組みを試行する。

【28年度試行の取組み】

- ・対象学校：新潟県内の工業高校
- ・参加者数：20人以上
- ・実施時期：平成28年7月～8月の夏休み期間中の3日間
- ・負担額：自己負担額9,000円（税込）を予定
（テキスト持参の場合：7,000円（税込）を予定）

※受講生へのアンケート、学科試験合格率の確認及び受講生の自己負担のあり方等試行結果等を踏まえて、平成29年度以降の実施方法を決定する。

平成28年度の活動予定

機関名・団体名：一般社団法人新潟県建設業協会

小学生を対象にした「現場見学会」の拡大実施

小学校では、様々な体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心と地域社会とのつながり等を考えさせる取組みの「キャリア教育」を推進している。ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組む当会では、これに協力し、小学生等が、社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に、平成20年度から現場見学会を実施している。

28年度は対象学校を県内全域の小学校とし、また、毎年度、多くの学校から申し込みがあることから、実施校数を5校以上に拡大して実施する。

【28年度の実施】

- ・対象学校：新潟県内の小学校
- ・実施数：5校以上
- ・見学箇所：大河津可動堰・信濃川大河津資料館

平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）日本道路建設業協会北陸支部

- ・来年度についてもインターンシップの取り組みを充実していく予定

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：北陸技術事務所

●MPレーダ見学（富山出張所）の要望

- ・ 富山大学 大学院理工学研究部 環境・エネルギー学域 地球環境システム学系
安永数明（ヤスナガカズアキ）教授より要望。

「富山防災センターの見学に加え、水橋サイトのMPレーダ見学（観測原理や目的の紹介等）を含めることは可能か。」

- ・ こちらからは対応可能と回答。
（MPレーダの説明は本局職員が対応することで調整済み）

- ・ 安永教授より回答。

「来年度の授業計画を立て、見学できる日程が確保できそうなら、再度、相談させてほしい。」

—以 上—

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：高田河川国道事務所

- ・平成28年度活動計画(案)の策定並びに調整
新潟県建設業協会上越支部並びに新潟県上越地域振興局と協議中。今後、上越総合技術高等学校並びに高田農業高等学校と行事予定の調整を行う予定。
- ・事業広報関係資料の作成
関川、姫川河川事業並びに糸魚川地区橋梁架替事業を対象に説明資料を作成中。
- ・平成28年度姫川・関川総合水防演習における建設業等協会団体の参加
北陸地方整備局主催の総合水防演習に地元建設業協会が参加・PR

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：千曲川河川事務所

- 千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール（小・中学生対象）の実施
- 信州環境フェアへの参加予定
- 総合学習
- 中学校での水生生物調査
- 夏期実習生の受け入れ
- 千曲川直轄改修100周年に関する活動

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：長岡国道事務所

【塩沢商工高等学校】

◆橋梁点検実習（新たな取り組み）

・キャリア教育やコミュニケーション力向上の視点も含め、塩沢商工高等学校新3年生（土木系科目を履修する7名）と業者（建設会社、コンサルタント）の若手技術者、長岡国道の若手職員で、橋梁補修をテーマに実習を行う予定。

1. 目的

高度経済成長期に建設された社会資本整備の長寿命化対策は、今後の土木業界における課題のひとつである。そこで、補修技術を含めた維持管理業務に興味関心を持ち、対応できる人材の育成を目的とする。

2. 特長

若手技術者の参加により下記の特長を有する。

1) キャリア教育の視点

・若手土木技術者との交流により、進路を考える機会を提供したい。

2) コミュニケーション力の向上

・土木工事は、受発注者及び地元等の協力が欠かせない。また一人で考えるのではなく会社（チーム）として対応できるなど、若手技術者とのグループ討議等も含めた実習を通じて、コミュニケーション力を身につけて欲しい。

3. 具体内容（素案）

1) 橋梁補修（事前学習）

維持管理計画／損傷及び原因／補修方法／点検方法

2) 橋梁点検（現地実習）

現地にて橋梁点検を実施／点検結果まとめ／補修方法の提案（グループ討議）

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：羽越河川国道事務所

- ・鷹ノ巣道路の工事現場を対象として、地元の小中学校に現場説明会を予定。
- ・連携校（新発田南高校）へ継続的に現場見学会を開催予定。